H29.3.10 第30号 福島県教育庁



肥満対応のための指導者講習会 H29.2.23

G G G G

ふくしまっ子体力向上総合プロジェクトの主旨に基づき、「自分手帳」や「肥満対応ガイドライン」の活用による体力向上・肥満への対応を推進するため、公立小・中学校の養護教諭と公立幼稚園の教諭等、市町村教育委員会の担当者の希望者を対象として開催しました。

講義「小児期からの肥満予防 | 菊池信太郎 氏 (医療法人仁寿会 菊池医院院長)

【講義内容】

「福島の子どもたちの現状」

- ・肥満児の増加
- ・体力・運動能力の低下

「生活習慣の乱れとその影響」

・肥満とメタボリックシンドローム

肥満と関連する因子「遺伝」「環境」「心理」

肥満解消、肥満児への対策は 肥満に関するすべてのコト (生活習慣・性格・家族背景・ 経済的状況など)への配慮を 総合的に行うことが必要

寺



「睡眠不足と肥満」

「朝食と成績」「朝食と肥満」 「体力と学力の関係」 「テレビ・ゲームと肥満の関係」 「肥満と成長障害」等

豊富な資料でご説明いただきま

「小児における 肥満の重要性」 肥満は糖尿病、高脂血症、 高血圧などの生活習慣病 の基盤である。

参加者アンケートから

専門機関と連携した肥満指導が効果的であることがわかった。幼少期からのアプローチが必要なので、町と一緒に取り組む事を検討していきたい。(小:養護教諭)

肥満傾向児に対する指導の大切さを痛感しました。 また、教育的アプローチ、臨床的アプローチの相互の 大切さについて改めて考えることができました。ガイ ドラインに沿って、学校現場で今すべきことを洗い出 し、指導していきたいと思います。(小:養護教諭)

子ども達の指導だけでなく、保護者の方にも伝えたい 内容が多くありました。なかなか受診していただけな い保護者の方々にも伝えることで、受診につなげてい きたいと思いました。(小:養護教諭)

幼少期からの肥満指導の重要性がよく分かりました。 具体的な肥満指導の方法についてもお話いただき、大変勉強になりました。(中:養護教諭)

「適正な目標体重の設定」

- ① 肥満度20%を目標
- ② 成長曲線で見える化
- ③ 思春期以前→体重を増やさない
- ④ 思春期以降→減量
- ⑤ 無理の無い日々の到達目標の設定

ガイドラインをもとに、学校医や管理職とよく相談し、進めて行きたいと思います。(中:養護教諭)

自分手帳やガイドラインについて理解が深まりました。きちんと活用して、肥満傾向児とその保護者へも説明できるようにしたいです。

(小:養護教諭)

文 責 (指導主事 吉田)